令和３年２月１日　山形新聞

考えるチカラは知ることから

1学級1新聞® 読んでみました

公立高普通科版　米沢東高

小論文対策になる

▽2年　五十嵐明穂さん(17)「将来は保育の仕事に就きたいと考えていて、関連する記事や大学についての情報などに注目して新聞を読んでいる。地元の取り組みについて、テレビのニュースよりもより深く、細かい所まで知ることができる。大学入試で使う小論文の対策になるため、政治や経済の記事を読んだ上で、要約した後に自分なりの意見を考えることを心掛けている」

論理的思考鍛える

▽高橋英路教諭(39)「地理の授業を担当していて、単元が終わるごとに関連する話題の記事を切り抜き、生徒に配っている。内容の要約と自分で見出しを考えるという作業をしてもらい、生徒同士で発表させている。論理的な思考力を鍛えるとともに、教科書で学んだ内容が身近な出来事と関連していると知ってもらうことで、より興味を持って社会について学ぶ姿勢を持ってもらえる」

【協賛企業】山形銀行、荘内銀行、きらやか銀行、山形県民共済生活協同組合、日東ベスト、日新製薬、アイジー工業、かわでん、角田商事、山形トヨペット、ネッツトヨタ山形、山形日産グループ、沼田建設、升川建設、山和建設、ＪＡ全農山形、ヤマザワ、山形パナソニック、須藤不動産、ウンノハウス、幸栄建設、加藤総業、ウエノ、でん六、富士通、電通